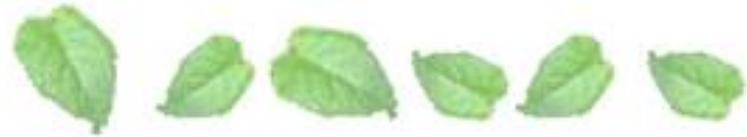


誰でも探せる頭痛の 5 つの原因



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : 頭痛の原因を探す (気の異常編)	4
2 : 頭痛の原因を探す (血流異常編)	15
3 : 頭痛の原因を探す (むくみによる影響編)	21
4 : 頭痛の原因を探す (首や頭部の歪みによる影響編)	27
5 : 頭痛の原因を探す (内臓の炎症編)	35

❖ 1 : 頭痛の原因を探す (気の異常編)

頭痛が起こると鎮痛剤。

もしくは頭痛外来。

他には方法ありますか？

私はキュアハウス！！

というのは、なしです。

それよりもキュアハウスへ来る前に原因を特定し、自分で
解消してしまった方が速いし費用もかからないし、良いと
思いませんか？

そのためには、頭痛の原因を特定しなければなりません。

頭痛の原因を大雑把に分類

頭痛の原因を大雑把に分類すると、以下の5つに分類できます。

1. 気の異常
2. 血流異常
3. むくみによる影響
4. 首や頭部の歪みによるもの
5. 内臓の炎症

1. 気の異常による頭痛

気の異常とは、体内で規則的に流れるべき気の流れが異常

な流れになったもの。

本来気は、単独で行動するものと、何かの物質を運ぶための働きをする場合があります。

ここでは、単独で動くもの。

そして、規則的に流れるべきところが崩れた場合ということで説明していきます。

血液は血管を、リンパ液はリンパ管を通ります。

では、気は？

というと経絡（けいらく）という道を通ります。

経絡は、ツボの流れ道。

電車で例えると、山手線という**経絡**があって、

渋谷駅や東京駅という人が集まったり、人が電車から降りたり乗ったりするところ、これが**ツボ**。

そして、線路を走り回る電車が**気**です。

電車の場合、各駅停車なら、すべての駅で止まってドアが開き、乗降者があり、ドアが閉まり、またスタートします。

急行や特急であれば、飛ばす駅もあり止まる駅もあるということを車掌が手動で行いますよね。

そのため、誰も降りない、誰も乗らない駅にも止まること

があるかもしれません。

逆に、急行と決まっていたら、人が溢れたホームも通り過ぎてしまうことになります。

ところが、体内で常に回っている気では、必要なところに必要な処置を行いながら、順次滞りなく動き回っているのです。

ただ、気が単独で、動き回っているのではなく、脳からの情報で動いているのです。

その脳からの情報は、気が全身くまなく動いている間に集めてきた情報を、脳に送り届けた結果、脳が判断した方法を、気に行わせているのです。

従って、日中の流れをすべて読み切って、この駅は人が溢れているけど、誰か有名人がその駅に来るという情報を得て、ホームで待っているだけだから、急行がわざわざその駅で止まる必要はないという情報が、気に伝われば、人であふれていても、安心して停車駅まで走り続けることができます。

ところが、2本先を走る電車が人身事故で、しばらく運行が停止状態だったため、乗れなかった乗客が溢れているという情報が入れば、いくら急行で、止まらない駅だったとしても、臨機応変に、停車して、少しでも、人を運ぶようなことを気は行えるのです。

といっても、このようなことができるのは、気の情報力がしっかりしていること、そして、脳の働きに問題がないことが前提となります。

人は、この前提通りにはいきません。

なぜなら、食事は人それぞれ、食べ方も食べるものも違います。

筋肉や骨や内臓の種類も数も同じなはずなのに、動かし方も休め方も人それぞれです。

当然ながら、気の動きも脳の働きも誤差が出てしまうのが当たり前。

そのため、気が必要以上に流れてしまったり、気が足りなくなったりすることが出てきてしまいます。

要は、気分によって、電車の車両数が、1両の場合もあれば、20両の場合もあるのです。

本来は10両であるはずであっても、日常生活の過ごし方によって、気の量も動く力も違ってきます。

そして、気が溢れてしまった場所や、気が足りなくなった場所、気が流れなくなってしまった場所や気の色が急激に早い場所などそれぞれの位置によって、気の量や速度が違ってしまふのです。

そのような場所が、すべて症状の元となるわけですから、様々な症状が出てもおかしくないと言えるのです。

そして、頭顔面部に流れている経絡は、

胃・大腸・小腸・三焦・胆・膀胱

この6つに合わせて、身体の中心部分を流れる経絡として、

任脈・督脈

という二つの経絡もあります。

これだけの経絡があり、それぞれ全身を巡り、内臓の情報も含め、何度も何度も経絡上を走行します。

その最中に何か問題が起これば、経絡上に侵入者が現れたり、駅で人身事故があったり、電車内で急病人が出たり、車掌の体調が悪化したり、駅が爆破されたり、ホームで人が暴れたりと、いろいろな問題に合わせて、適宜対処していく必要があるわけです。

もちろん、ここで挙げている頭痛であれば、頭顔面部だけの問題ではなく、これらの経絡上のどこで問題が起こっても、頭を通るのですから、少なからず何らかの影響が出る

のが普通です。

電車であれば、始発と終電があります。

通常通勤通学ラッシュなどもあります。

であれば、人の数も流れも違うのが普通です。

けれど、体内では、24時間休むことはありません。

いついかなることが起きても、気が動いている以上、気づくことができたり、瞬間に対処したりすることができます。

けれど、気が抜けていたら？

気持ちをしっかり持っていたら、何とかこなせる状態であ

っても、気持ちが散漫であれば、途中で投げ出してしま
うこともあるかもしれません。

気というのはそういうものですし、いつでも利用している
もの。

そして、なくてはならないものなのです。

続きは次回配信します。

❖ 2 : 頭痛の原因を探す (血流異常編)

今回は、血流異常による頭痛についてです。

血流異常には、

1. 血液の流れが悪い
2. 血液が流れすぎている
3. 血液の流れに左右差がある

というものが頭部および頭部付近で起きているということ。

1. 血液の流れが悪い

血液の流れが悪くなるポイントには、

- 血管が狭くなっている
- 血管に何かが詰まっている
- 血管を何かが圧迫している
- そもそも血液が少ない
- 頭部以外に緊急事態な場所が他にある

などが考えられます。

この中で、血管が狭かったり、何かが詰まったり、血液自体が少ないというのは、日常生活の結果です。

血管を圧迫しているものの中には、

- 首や頭部の歪み
- 腫瘍
- 筋肉の緊張
- 手術による癒着

などがあります。

頭部以外の緊急事態とは、

- 生理
- 外傷
- 内臓の炎症

などが考えられます。

このように、たった血液の流れが悪いという理由であっても、これだけの原因が考えられるわけです。

2. 血液が流れすぎている

血液が流れすぎている場合には、以下の3点が考えられま

す。

- 高血圧
- 交感神経が優位
- 目や鼻など顔の器官を使いすぎている

このようなものが原因となります。

高血圧は、頭部だけでなく、全身の血流が激しくなります。

交感神経は、興奮性の神経であり、どんどん頭が冴える作用があります。

従って、頭に血が上っているのが普通な状態になってしまうことが多い。

目を使いすぎたり、鼻をかみすぎたりしていると、頭部の神経が働くことが多くなるわけですから、同時に血液の流れも激しくなるものです。

3. 血液の流れに左右差がある

血液の左右差は、使い方と歪みによるもの。

まれに心臓疾患により起こる可能性はありますが、ここでは、省いて考えます。

使い方というのは、

- バッグをかける肩が一方に偏っている
- いつも受話器を肩と耳の間にはさみ長時間通話することがある

- いつも首を捻って横のTVを見ながら食事をしている
- 職場でパソコンのディスプレイが斜め前にある
- いつも犬と一緒に寝ているので寝返りが打てない

などの理由で、左右差や歪みが出ているということになります。

このような血液の流れを改善する方法が、そのまま頭痛の改善法になるわけです。

❖ 3 : 頭痛の原因を探す (むくみによる影響編)

むくみと聞くと、ふくらはぎ、もしくは顔ぐらいしかイメージできない人がいると思いますが、むくみは全身至る所に出るものです。

しかし、今回取り上げるむくみの代表は、やはりあなたもご存じのふくらはぎのむくみ。

頭痛の原因が、頭から最も遠い足のむくみによるものとは、なかなか捉えられないものです。

よくキュアハウスで起こる現象として、頭痛の患者さんが、

「先生痛いのは頭なんですけど！！」

と、少し怒り気味のコメントが飛んでくる場合があります。

そして、私はすかさず、

「そうですよね！だから必死で頭を楽にしよ
うとしています。」

と回答する。

こういうやり取りが多いのもキュアハウスの特徴です。

要は、足のむくみを流す施術をすることが頭痛改善に強烈な作用を及ぼすことを知っているからこそ、施術ともいえるのです。

では、どのような作用で、むくみが頭痛の原因となりうる

のか？

それが、体内の3つの基本要素である

気・血・水

の、血や水から気が離脱してしまった状態がむくみとなります。

以前にも話していますが、血や水には、自ら動く能力がありません。

かたや、気は自ら動きまわることができます。

寝ている時以外は、基本的に脚は心臓よりも下に位置します。

水は、上から下に流れていくものです。

従って、心臓から出た血液と体液である水分は、徐々に下流へ行きつくようになります。

ところが、足先から、上に向かって血液や体液が上に上るためには、気の上昇性のパワーが必要になります。

いくら筋肉が動いても、上へ血液を流す力は、気の力がなければ、血流改善ができません。

逆に気はしっかり機能しているのに、筋肉を動かさないがために、むくんでしまうということもあります。

要は、こういうことです。

1. 血や水から気が離れてしまい下半身がむくみ気が昇りすぎた結果、頭部に集まり頭痛となるわけです。
2. 気がしっかりと血と水に付帯されていながら、筋肉や関節の固さによって、血液を動かすことができずにむくんでしまう。

こうなると、頭部は貧血状態になり、栄養失調になってしまい頭痛が起きてしまうわけです。

血や水から気が離れてしまう理由は、連動できない日常になれてしまったから。

筋肉や関節の固さは

1. 筋疲労
2. 筋肉がつきすぎたうえでの運動不足

3. 冷え
4. 筋肉の委縮
5. そもそも筋肉が弱い

このような要素が固さのきっかけとなるわけです。

それ以外に病気や外傷によるものもありますが、下半身に
不必要なむくみがたまってしまうと、頭痛になるという概
要だけでも理解できたでしょうか？

❖ 4 : 頭痛の原因を探す (首や頭部の歪みによる影響編)

ここまで、中医学の基礎理論としての、気・血・水の影響による頭痛に関してお話してきました。

今回は、西洋医学でも中医学でもない、整体学からの考えになります。

首は7個の骨 (頸椎) からなっています。

そして、その首の頂点にあるのが、頭蓋骨という骨の組み合わせによって脳を守っているいわゆる頭があります。

また、歪みというのは、骨が、本来あるべき形や位置でなくなつた状態を言います。

けれど、本来の形でないからと言って、骨自体が溶けたとか形が変わったということではなく、向きが、真っ直ぐであるべきところが傾いてしまったとか、捻じれてしまったという状態。

位置というのも、どこまでも場所が変わってしまう脱臼のようなものではなく、関節内での位置関係が狂ったもの。

いわゆる亜脱臼（脱臼になりかかっているけど脱臼にはまだなっていない状態）という状態のことを言います。

この歪みというものが、いろいろな症状を引き起こすものになることが多いのですが、一番の問題は、筋肉のバランスが崩れていること。

身体を動かすのも、身体を支えるのも、本来、筋肉のバラ

ンスが整っていることで、無理なく行うことができるわけです。

ところが、筋肉のバランスが崩れていると、無理な動きが筋肉に要求されたり、うまく関節上を骨が動かず、骨同士や周りの組織とぶつかってしまい、痛みを発してしまうことが起きてしまうのです。

また、筋肉のバランスが崩れるということは、左右でも前後でも筋肉の伸び縮みの率がそれぞれ違ってきてしまいます。

その結果、血流の左右差、前後差というものが起きてくるわけです。

血流の差があるということは新陳代謝にも差が出てきてし

まいます。

どんどん新たな栄養が入り、ますます機能的になる場所と、いつまで経っても新たな栄養が来ず、新陳代謝ができないため錆びついてしまう場所という差になって現れてしまうわけです。

新陳代謝ができない疲労物質や老廃物がたまってしまふ場所や、血流障害を起こしている場所には、痛みが出てしまいます。

例えば、首の3番目の骨が、左に傾いた形で固まってしまった場合、左側の血流障害を引き起こす可能性があります。

となると、

1. 首の左側の血流不足による痛み
2. 首の左側の血流不足により左頭部の血流不足が起こり新陳代謝ができず痛みが出てしまう
3. 上記のような流れで、左頭部の新陳代謝ができないため、代わりに右頭部が代役として働き、右頭部のオーバーワークで、右頭部に痛み
4. 首の左側の血流不足で、首の左側の筋肉が栄養不足により固まる。すると、頭が左側に傾き、右首が引き伸ばされ、右の首の筋疲労から右首に痛み
5. 右首の筋疲労から、右側も血流障害が引き起こされ、右頭部にも影響

もういいですね。

妄想が始まるとどこまでも連動して行ってしまいます。

このように、たった1か所の骨の傾きが変わるだけで、様々な場所に痛みを引き起こす危険性が出てくるわけです。

だから、**歪みは悪**。

ということから、歪みの矯正という発想が生まれたのですが、そもそも

なぜその骨はそこにそのような形でいるの？

という発想が起きなければ、無理やり真っ直ぐにしたとしても、骨にも理由があって歪んでいたわけですから、瞬間的に元のゆがんだ形に戻ってしまうのです。

元々骨に動く能力はありません。

なのに場所や傾きが変わったのを骨のせいにするのは無理があるわけです。

傾いているから骨を正す。

ではなく、骨が傾かざる負えない、筋肉のバランス異常を改善することが、骨の位置を正常化させる方法なのです。

筋肉のバランス異常さえ整えられれば、血流の左右差も前後差もなくなります。

ということから、歪みが悪いのではなく、そもそもそんな歪みを引き起こす、筋肉のバランス異常を起こすような使い方が日常に含まれていることが最も悪いわけです。

この理論が理解できていなければ、頭痛どころか、あらゆる

る症状の原因をつかむことも改善することもできません。

積み木でも利用して、実際に、積み木を骨と見立てて、傾いた位置で首を回したり肩を回したりするとどうなるか？

筋肉のバランス異常を起こした時の動きはどのようなことが起こるのかを、実体験として理解できると、あらゆる場所の歪みに対して理解が進むようになります。

❖ 5 : 頭痛の原因を探す (内臓の炎症編)

今回は、内臓の炎症による頭痛に関して考えていきましょう。

多くの場合は、

1. 胃炎
2. 肝炎
3. 宿便

という3つに絞られてくるのですが、他にも可能性は様々あります。

けれど、作用機序に関しては、どれも同じような原理で起こる頭痛ですので、軽く捉えてみてください。

胃炎と肝炎に関しては、ほぼほぼ同じ原理の頭痛になります。

- 暴飲暴食
- 刺激物
- ストレス

これらが原因となり、胃や肝臓に負担がかかった結果、胃や肝臓に炎症が起きるといったもの。

炎症は、いわゆる火事ですので、熱から起こる湯気のような熱の情報を持った気が湧きあがります。

熱というものは、上昇性の作用がありますので、上へ上へと上がっていきます。

肝臓は、胆管を通り、十二指腸へとつながっています。

従って、肝臓の炎症は、十二指腸へと流れていくことが理解できると思います。

十二指腸の上には、胃があります。

胃の上には食道という煙突の役割をする通り道が口までつながっています。

口の中は、上側の上顎洞という鼻の穴とつながる空間につながります。

その上にはすぐ脳があるわけです。

このような流れで、どんどん炎症による熱で、煙や湯気の

ような熱気が、上へあがり、脳を守る頭蓋骨周辺に集まっ
てきます。

その情報は神経を通り、すぐさま脳へと伝わります。

もちろん、頭蓋骨周辺はすべて熱で覆われていきます。

熱は上へと上がり、中から外へと広がる力が働きます。

そのため、上に突き抜けるような痛みが起きたり、頭全体
が割れそうに痛むようになっていたりといろんな痛み方を引き
起こします。

もちろん、胃も同じ流れで頭痛を作ります。

宿便に関しては、排便も吸収もできなかった、必要なのか

不要なのかも知れない食材が、体内に残っているもの。

ごみ屋敷がやがて火事になるように、生ごみが放置されていると腐敗したのちに、熱を持ち始めます。

その熱から、湯気が立ち上り、同じように上へと流れていきます。

これが内臓の炎症による頭痛になります。

頭痛というと、群発性頭痛や片頭痛など有名な疾患名がついていたりしますが、実は、どの頭痛もこのように5つに分類することで、より細かく原因が理解でき、不要な投薬治療が必要なくなるわけです。

逆に、投薬治療で頭痛だけ止めてしまったら、根本原因が

そのままになってしまいますので、慢性頭痛になるのも理解できると思います。

まずは、根本の原因は何なのか？

それは、疾患名ではなく、検査でも出ない、あなたの生活パターンもしくは体の構造上の問題などが、絡んでいるわけですので、原因を理解できるのは、唯一あなただけとなるわけです。

ということは治し方を考えられるのもあなただけということ。

だから、知らないことを知らなければならないのです。

今からでもまだ間に合いますから、一つずつ理解していただきたいと思います。

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★どの健康情報とも全く違う視点であなたの症状を取り除く教材がそろっている：「キュアハウス健康情報館」

<http://curehouse.biz/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

株式会社キュアハウス
キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生